

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	滋賀短期大学
設置者名	学校法人純美禮学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	生活学科	夜・通信			70	78	7	
	幼児教育保育学科	夜・通信		8	43	51	7	
	ビジネスコミュニケーション学科	夜・通信			91	99	7	
		夜・通信						
(備考) 添付書類 1-1～1-3：学科別「実務経験のある教員等による授業科目一覧表及び学科の7単位分のシラバス」								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>大学ホームページのシラバス講義一覧のトップページにおいて、実務経験「あり・なし」を選択することができる。そこで「あり」を選択すると、実務経験のある教員の授業一覧表が公開される。</p> <p><a href="http://www.esyllabus.jp/view/">http://www.esyllabus.jp/view/</a></p> <p><a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_23_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_23_2019.pdf</a></p> <p><a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_24_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_24_2019.pdf</a></p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	滋賀短期大学
設置者名	学校法人純美禮学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

純美禮学園のホームページ(<http://www.sumire.ac.jp/>)の情報公開>財務情報>法人概要に掲載 [http://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/h30\\_zaimu.pdf](http://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/h30_zaimu.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
中澤道盛(非常勤)	現職：(株)ナカザワ 代表取締役	H30.4.1 ~ R4.3.31	総務担当 産業界からの視点
辻 雅代(常勤)	前職：県立守山中学校・ 高校校長 現職：附属高校副校長	H28.4.1 ~ R2.3.31	高校副校長 公立学校からの視点
(備考) 添付書類2			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	滋賀短期大学
設置者名	学校法人純美禮学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教員は、ディプロマポリシー並びにカリキュラムポリシーに基づき、学習成果に対応した授業計画を立てている。また、資格免許の養成課程に該当する科目は、その認定に沿った授業内容を提供している。</p> <p>シラバスはWebにより一般に公表している。シラバスには、①講義番号、②授業科目、③担当教員、④年次、⑤開講期、⑥単位、⑦形態、⑧卒業必修・選択、⑨授業科目英文名、⑩授業の到達目標、⑪授業の内容、⑫教科書、⑬参考書、⑭担当者からのメッセージ、⑮課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法、⑯成績評価の方法及び基準、⑰オフィスアワー、⑱担当教員 E-mail、⑲教員相互授業参観、⑳「授業計画」、㉑定期試験を明示している。シラバスの作成に当たっては手引書を配布するとともにFD学内研究会で確認している。また、編集、校正は教務委員が行い、各授業科目の担当教員が作成した原稿を第三者が確認して不備をなくし、全体としての統一化を図っている。Web 入力は、前年度の12月から開始し、3月中旬に公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p><a href="http://www.esyllabus.jp/view/">http://www.esyllabus.jp/view/</a>  <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_23_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_23_2019.pdf</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、学則及び「試験及び成績に関する内規」に従って厳密に行っている。シラバスに記載された成績評価の方法及び基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の授与又は履修の認定を行っている。</p> <p>成績は学期ごとに試験等によって評価し、100点満点に対して60点以上を合格とし、その評価は、「秀・優・良・可・不可」で表している。成績評価基準は、秀(90点以上100点まで)、優(80点以上89点まで)、良(70点以上79点まで)、可(60点以上69点まで)、不可(59点以下0点まで)である。病気またはやむを得ない正当な事由のために定期試験が受けられなかった場合は、追試験を受けることができる。また、定期試験において不合格となった科目においては、科目担当教員が認めた場合には再試験が受けられる。不正行為に対しては厳罰処分を定めている。なお、成績評価において、学生は「不可」の評価に対する異議の申し立てができるよう、定めている。また、定期試験の実施にあたっては、試験監督者の打ち合わせ時間を設け、試験をより厳密に実施できる体制を整えている。</p> <p>また、履修科目が多くなることで各科目の学習効果が弱まることを防ぐため、2年間でバランスの取れた履修となるよう、修得単位の上限を半期30単位までと定めている。ただし、前学期までの累積GPAが3.0以上の場合は上限を32単位としている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>教育課程における学習到達度を客観的に評価することにより、大学教育の質を保証するとともに、きめ細やかな履修指導、学習支援等に資することを目的として、GPA制度に関する要綱を定めている。</p> <p>GPAの算出方法は以下のとおり</p> <p>学期GPA = <math>\frac{\text{当該学期の履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}}{\text{当該学期の履修科目の総単位数}}</math> の総和</p> <p>累積GPA = <math>\frac{\text{全学期の履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}}{\text{全学期の履修科目の総単位数}}</math> の総和</p> <p>学期GPA及び累積GPAは、毎学期の成績発表日に学生に成績通知書で通知している。やむを得ない事情がないにもかかわらず、学期GPAが前学期1.0未満の学生には、学科長が厳重注意を行っている。</p> <p>また、学科ごとの累積GPAをWeb上で公開している。</p> <p>添付書類3：「客観的な指標に基づく成績の分布を示す資料」(GPA下位4分の1を示す)</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.sumire.ac.jp/tandai/guide/gpa/">https://www.sumire.ac.jp/tandai/guide/gpa/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学科、各コースにおいて、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を定め、Web上で公表している。各学科・コースにおいては、教育目的に基づく科目を卒業認定単位として定めている科目には全学科の学生を対象として幅広い教養と総合的な判断を養い、豊かな人間性を育てるための「共通科目」がある。共通科目には1群から5群に類型化し、この中にはキャリア教育や他大学との単位互換科目を含んでいる。また、学科・コースにはそれぞれの専門性に沿った「専門科目」がある。「共通科目」における卒業認定に必要な単位数は全学科共通であるが、「専門科目」における卒業認定に必要な最低単位数や卒業必修科目は、各学科・コースごとの教育目的に即した単位数と科目を定めている。その科目編成については、学校教育法の短期大学の規定に照らして、毎年度、各学科で検討し、教務委員会で協議し、教授会で審議している。</p> <p>共通科目12単位と各学科の専門科目50単位以上、合計62単位以上を取得した者について、教授会の議を経て卒業の判定を行っている。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_29_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_29_2019.pdf</a>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	滋賀短期大学
設置者名	学校法人純美禮学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/h30_zaimu.pdf">http://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/h30_zaimu.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/h30_zaimu.pdf">http://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/h30_zaimu.pdf</a>
財産目録	<a href="http://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/h30_zaimu.pdf">http://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/h30_zaimu.pdf</a>
事業報告書	<a href="http://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/h30_zaimu.pdf">http://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/h30_zaimu.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/h30_zaimu.pdf">http://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/h30_zaimu.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2018/06/release_44_h31.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2018/06/release_44_h31.pdf</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2016/03/48e6d94718670a020285279b7d8d2b3b.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2016/03/48e6d94718670a020285279b7d8d2b3b.pdf</a>
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 生活学科
教育研究上の目的（公表方法： <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_03_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_03_2019.pdf</a> ）
（概要） 生活学科は、食生活に関する専門の知識と技術を授け、科学的な視点から食生活を捉える姿勢を養い、家庭及び社会でより良い食生活を提案できる能力をもった人材の育成を目的としている。
卒業の認定に関する方針（公表方法： <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2018/06/release_29_h30.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2018/06/release_29_h30.pdf</a> ）
（概要） 生活学科は、以下の 4 点を卒業認定に関する方針としている。 ①豊かな食生活に貢献できる、専門的な知識を身につけている。 ②現場に必要な専門的技能と実践技術を修得し、生活の質の向上に積極的な提案ができる。 ③修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 ④地域社会の食文化の創造に貢献する姿勢と態度を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_21_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_21_2019.pdf</a> ）
（概要） 生活学科は、心技一如の建学の精神を具現化するために、豊かな教養と専門知識を講義で学び、実験・実習をとおして高い技術を身につけることを目指したカリキュラムを編成している。 ○食健康コース 栄養士、栄養教諭関連の専門知識と技術を講義と実験・実習を通して習得し、地域の食文化を継承できる食の専門家を目指したカリキュラムを編成している。 ○製菓・製パンコース 和菓子、洋菓子、製パンの理論と技術を講義と実習を通して習得し、菓子や食品製造の現場において活躍できる実践力を身につけることを目指したカリキュラムを編成している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_15_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_15_2019.pdf</a> ）
（概要） 生活学科では、日常の“食生活”全般を科学的・実践的に探究し、多様化する食の現場で必要とされる人材を育成したいと考えている。そのため、食の現場で活躍するために専門的な知識と技術を身につけようという意欲のある人、健康的で真に豊かな食生活を目指し自ら楽しく実践できる人、自分らしく工夫する喜びや楽しみを学びたい人、他人と協調して物事に取り組むことができる人、地域社会で積極的に活動し、貢献するための知識と技術を学ぶ意欲がある人を広く受け入れていく方針である。

<p>学部等名 幼児教育保育学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：  <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_03_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_03_2019.pdf</a>）</p>
<p>（概要）          幼児教育保育学科は、幼児教育保育に関する専門の知識と技術を授け、時代や社会の要請に応え得る幼稚園教諭、保育士、そして准学校心理士などの人材の育成を目的としている。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：  <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_29_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_29_2019.pdf</a>）</p>
<p>（概要）          以下の4点を卒業の認定に関する方針としている。          ①子どもの心身の発育と発達、幼児教育の本質と目的を理解している。          ②子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助、保護者との適切な関りを築いた上での相談援助等ができること。          ③子どもの発達過程に即した指導計画を立案し、そして実践を評価することができること。          ④幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚していること。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：  <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_21_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_21_2019.pdf</a>）</p>
<p>（概要）          以下の4点を教育課程の編成及び実施に関する方針としている。          ①幼児教育保育に関する基礎的な知識を理解するために卒業必修科目を設置している。          ②幼児教育保育に関する知識をさらに深く理解するために専門科目を設置している。          ③幼児教育保育に関する知識をもとにした実践的な技能を習得するために演習・実習科目を設置している。          ④保育士および幼稚園教諭二種免許取得のための科目を設置している。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：  <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_15_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_15_2019.pdf</a>）</p>
<p>（概要）          幼児教育、保育、福祉の現場で活躍したいという意欲と情熱を持ち、自分の目標を実現するために努力を惜しまない人を求めている。したがって、高校時代までに、学ぶ土台となる基礎学力、理解力、想像力、創造性、思考の柔軟性そしてコミュニケーション能力を身につけておくことが望ましいといえる。</p>



<p>学部等名 ビジネスコミュニケーション学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：  <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_03_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_03_2019.pdf</a>)</p>
<p>（概要）          ビジネスコミュニケーション学科は、ビジネスに関する専門の知識とスキルを授け、社会人としての基礎力、ビジネス実務能力、およびコミュニケーション能力を持った人材の育成を目的としている。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：  <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_29_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_29_2019.pdf</a>)</p>
<p>（概要）          ビジネスコミュニケーション学科は、以下の4点を卒業認定に関する方針としている。          ①社会におけるマナーを理解している。          ②相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。          ③問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて行動できる。          ④誠実な態度で責任感をもって行動できる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：<a href="https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_21_2019.pdf">https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_21_2019.pdf</a>)</p>
<p>（概要）          ビジネスコミュニケーション学科は、以下の3点を教育課程の編成及び実施に関する方針としている。          ①社会における一般常識やビジネスマナーについて理解し実践するための科目を設置している。          ②ビジネスで必要とされる基本的な知識を理解するための科目を設置している。          ③相手の話を聞き、自らの考えを表現するためのコミュニケーションスキルを身につけるための科目を設置している。          これらをもとにアクティブラーニングなど実践力が身につく教育方法を取り入れて指導を行う。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：<a href="https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_15_2019.pdf">https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_15_2019.pdf</a>)</p>
<p>（概要）          ビジネスコミュニケーション学科では、実践的な教育が可能な環境で、社会に通用する実務能力が身につく教育を行いたいと考えている。そのため、ビジネスの現場で活躍するために専門的な知識とスキルを身につけようという意欲のある人、積極的に他者とコミュニケーションを図り、協調して物事に取り組みたいと考えている人、地域社会で積極的に活動し、地域に貢献したいと考えている人を広く受け入れていく方針である。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_08_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_08_2019.pdf</a>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3人	－					3人
生活学科	－	5人	0人	1人	1人	4人	11人
幼児教育保育学科	－	6人	3人	2人	人	人	11人
ビジネスコミュニケーション学科		3人	3人	人	人	人	6人
地域連携教育研究センター		人	1人	人	人	人	1人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		92人					92人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/guide/teacher/">http://www.sumire.ac.jp/tandai/guide/teacher/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>本学では高等教育開発センター、地域連携教育研究センターにおいて教職員を対象としたFD研修会を計画し開催している。</p> <p>2019年度のFD研修会の開催予定は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月 4日（木）学内研究会「授業づくりの工夫や向上に向けての取組みについて」</li> <li>・ 7月 18日（木）「科研費申請について」</li> <li>・ 9月 5日（木）午前「授業アンケートについて」（学外講師）</li> <li>・ 9月 5日（木）午後「研究倫理教育等」</li> <li>・ 12月 5日（木）「シラバスの作成について」</li> <li>・ 2月 6日（木）「ICTを活用した教育内容の改善」</li> </ul>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数

生活学科	80人	53人	66%	160人	109人	68%	人	人
幼児教育保育学科	150人	102人	68%	320人	230人	71%	人	人
ビジネスコミュニケーション学科	100人	111人	111%	200人	210人	105%	人	人
合計	330人	266人	80%	680人	549人	80%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
生活学科	64人 (100%)	1人 (1.6%)	54人 (84.4%)	9人 (14.1%)
幼児教育保育学科	135人 (100%)	3人 (2.2%)	127人 (94.1%)	5人 (3.7%)
ビジネスコミュニケーション学科	81人 (100%)	2人 (2.5%)	74人 (91.4%)	5人 (6.2%)
合計	280人 (100%)	6人 (2.1%)	255人 (91.1%)	19人 (6.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
生活学科	73人 (100%)	64人 (87.8%)	2人 (2.7%)	6人 (8.2%)	1人 (1.4%)
幼児教育保育学科	158人 (100%)	135人 (85.4%)	8人 (5.1%)	15人 (9.5%)	0人 (0%)
ビジネスコミュニケーション学科	90人 (100%)	81人 (90.0%)	2人 (2.2%)	8人 (8.9%)	0人 (0%)
合計	321人 (100%)	280人 (87.2%)	12人 (3.7%)	29人 (9.0%)	1人 (0.3%)
(備考)					
生活学科入学生のうち、その他1人については、ビジネスコミュニケーション学科に転科後、退学した。そのため、ビジネスコミュニケーション学科の学生数は入学者数より1人多い。					
幼児教育保育学科では、卒業単位は満たしたものの教諭免許や保育士資格に必要な科目が不足した学生が留年している。					
中途退学者及び休学者の増加への対応のために、平成27年度に休学・退学届の様式を変更し、その理由等の分析を可能にした。その後は、休学・退学希望者の理由を早めに確認し、学生支援センターを中心に対応している。その結果、経済的理由での退学者は減少している。心身の問題については早期に確認できるよう、教員、保健室、カウンセラー、及び学生支援コーディネーター等の連携によってサポー					

ト体制を整えている。

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)  
 すべての授業科目のシラバスは Web により一般に公表している。  
 シラバスには、①講義番号、②授業科目、③担当教員、④年次、⑤開講期、⑥単位、⑦形態、⑧卒業必修・選択、⑨授業科目英文名、⑩授業の到達目標、⑪授業の内容、⑫教科書、⑬参考書、⑭担当者からのメッセージ、⑮課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法、⑯成績評価の方法及び基準、⑰オフィスアワー、⑱担当教員 E-mail、⑲教員相互授業参観、⑳「授業計画」、㉑定期試験を明示している。シラバスには上記の記載項目の見方も具体的に示している。シラバスの作成に当たっては手引書を配付するとともに FD 学内研究会で確認している。また、編集、校正は教務委員が行い、各授業科目の担当教員が作成した原稿を第三者が確認して不備をなくし、全体としての統一化を図っている。Web 入力、前年度の 12 月から開始し、3 月中旬に公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)  
**【様式第 2 号の 3 より再掲】**  
 シラバスに記載された成績評価の方法及び基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の授与又は履修の認定を行っている。  
 成績評価においては、学則はじめ規定等に基づき厳格に評価している。各科目の成績評価の基準はシラバスに記載し、学生に周知している。成績は学期ごとに試験等によって評価し、100 点満点に対して 60 点以上を合格とし、その評価は、「秀・優・良・可・不可」で表している。成績評価基準は、秀（90 点以上 100 点まで）、優（80 点以上 89 点まで）、良（70 点以上 79 点まで）、可（60 点以上 69 点まで）、不可（59 点以下 0 点まで）である。  
 共通科目 12 単位と各学科の専門科目 50 単位以上、合計 62 単位以上を取得した者について、教授会の議を経て卒業の判定を行っている。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	生活学科	62 単位	有・無	30 単位
	幼児教育保育学科	62 単位	有・無	30 単位
	ビジネスコミュニケーション学科	62 単位	有・無	30 単位
		単位	有・無	単位
GPA の活用状況 (任意記載事項)	公表方法:各学科別に累積 GPA をホームページで公開している。学期ごとの GPA で 1.0 未満の学生については、学科長とゼミ担当教員が面談の上、指導している。 累積 GPA が 3.0 以上の場合は、CAP の上限を 32 単位とし、履修の機会を広げている。 <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/guide/gpa/">http://www.sumire.ac.jp/tandai/guide/gpa/</a>			
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法： <a href="http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_20_2019.pdf">http://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2019/05/release_20_2019.pdf</a>			

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.sumire.ac.jp/tandai/guide/release/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	生活学科	720,000 円	200,000 円	400,000 円	
	幼児教育保育学科	720,000 円	200,000 円	336,000 円	
	ビジネスコミュニケーション学科	720,000 円	200,000 円	300,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学習支援室としての役割を担うラーニングコモンズを設置している。授業時間表と Student Handbook に開室時間等を記載し、学生の利用の促進を図っている。本学では学生の基礎学力の向上が課題であるが、これに関しては、各学科とも実力テストや入学前課題確認テスト等を年度当初に実施し、指導が必要な学生には個別にラーニングコモンズを活用するよう強く勧めている。また、定期試験の結果、再試験を受験しなければならない学生を対象とした「再試験準備講座」を再試験実施担当者の指導のもとに開催し学習支援を行っている。ラーニングコモンズは、自習、グループ学習、ミーティング等、何でも使用できる教室でもある。また、(月)・(水)・(木)の週3日間は担当教員が在室し、学習についてのアドバイスや個別の補習、レポートや就職試験の際に必要な文章の書き方等について指導、また、留学生への日本語指導など、学生が学ぶ上でのあらゆる面をサポートしている。</p> <p>また、就職支援としては、マイクロソフトオフィススペシャリスト：ワード・エクセル・パワーポイント、IT パスポート、コミュニケーション検定、SPI 筆記対策講座を実施し資格取得支援に伴う支援講座を実施させ資格取得に向けての支援を展開する。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>1 回生前期・2 回生後期に学科毎のキャリア教育を実施している。自分自身のキャリア形成を考えるために必要な基礎知識を習得させる。また、社会人として基礎的な知識を身につけるカリキュラムを展開している。</p> <p>1 回生後期から就職支援講座を実施する。生活学科・ビジネスコミュニケーション学科には、最終到達点として履歴書の完成を目指す講座を実施。幼児教育保育学科の講座は、履歴書完成だけに留まらず、保育者として求められるピアノ技能力、文章作成力等総合的に指導を展開している。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生支援コーディネーターを配置し、より学生に寄り添う支援を行う。カウンセラー配置は、火・水曜日 (10:00~16:00)、金曜日 (11:00~17:00) 保健室にて予約制で実施している</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.sumire.ac.jp/tandai/guide/release/>